

柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 〒742-0022
 (株)柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 泰
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料1ヶ月1,512円
 (郵送 1,620円)
 振替口座01550-3-005438
 《火・木・土曜日発行》



果子乃季 KASHINOKI

柳井市柳井5275 Phone(0820)22-0757

柳井市人口・世帯数 (7月末現在)

●世帯数	15,806 (-6)
●人口	32,632人
●男性	15,243人
●女性	17,389人
●前月比	-13人
●外国人	150人

金魚、白壁柄のパッケージ

あさひ製菓が全面協力、1個300円

柳井の老舗文具店として、金魚ちようちんをデザインしたリングノートなどの独自商品を開発している(有)木阪賞文堂(木阪泰之社長)が、柳井市中央3丁目1番1号が、新たな展開として、山口県最大手の和洋菓子製造販売メーカー「あさひ製菓」(坪野恒幸社長)と市内中馬皿の協力を得て、同社オリジナルの「柳井金魚ちようちん」月でひろった卵を商品化した。地元名産の甘露醤油入りの餡とチーズクリームを組み合わせた味に仕上げ、パッケージも金魚と白壁の2種類を用意している。すでに7月29日から1個300円で発売されている。

甘露醤油入りの餡とチーズクリームを組み合わせた「甘じよっぱい味わい」に



1894年創業の同社は現在、柳井中央店(市内中央3丁目)と白壁本店(白壁の町並み)で店舗展開。約5年前から、柳井ブランド認定商品の「金魚ちようちんリングノート」を商品化し、これまで約200種類のオリジナル文具などを販売している。2年前、木阪社長が、ウ

特別仕様の月たまを発売

柳井の老舗文具店、木阪賞文堂が商品化

阿月の大野君枝さんが就任

やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク代表に

やまぐち農山漁村女性起業ネットワークの代表に選出された柳井市阿月の漁業大野君枝さん(69)が7月28日、市役所を訪れ、井原健太郎市長に就任報告を行った。

同ネットワークは、県内の農山漁村女性起業が、さらなる発展をするよう、個々の活動の枠を越え、県下各地の農山漁村女性起業が広域的に連携し、互いに知恵を出し合い、情報交換や発信を進め、課題解決することを目的に、平成16年9月に設立した女性団体。現在の構



成員は、28個人、95グループ、合計123会員うち、柳井市は10会員。

交換や起業活動に関する知恵・技術の交流、やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド「やまみちゃん」の管理・運営などがある。このうち、やまみちゃんブ

ランド認定品(7月1日現在、308商品)に及び、うち柳井地域からは88商品(26会員)が認定されている。

市役所を訪れた大野さんは「責任重大ですが、みなさんと力を合わせて頑張りたい。特に水産関係が低迷する中、農業関係者と連携しながら、ブランド認定品を一つでも多く増やしたい。そして、農山漁村女性たちの「がんばり、元気、こだわり」をもった起業活動の認知度を高め、存在感のある商品づくりなどを行い、そのことを全国に発信していきたい」と意気込みを語っていた。



ネットワークに加入し、7月13日開催の総会で代表に就任した。任期は2年間。

柳井市の観光名所の白壁通りに出店している「包贈屋(河本昌記代表)は、白壁の町並み特別企画として、風鈴を使った「日本の音を通りに」を立案、実施した。

使用した風鈴は「南部鉄風鈴(1000円)。短冊には、風鈴を吊す店の名前を入れることができ。7月21日に、河本代表自らが風鈴を持って、白壁通りなどの商店に行き、「訪れた人に涼やかな風の音を届けたい。白壁通りのイメージアップにもなるので、ぜひご協力を」

柳井市人口・世帯数 (平成29年7月市地区別の世帯数は次の通り) (全体)
 ●世帯数 11万7389人
 ●人口 32万7389人
 ●外国人 1151人、女99人
 【柳井地区】

風鈴で観光客おもてなし

白壁通り包贈屋が企画販売し、大人気

柳井市の観光名所の白壁通りに出店している「包贈屋(河本昌記代表)は、白壁の町並み特別企画として、風鈴を使った「日本の音を通りに」を立案、実施した。

河本代表は「南部鉄風鈴で、それぞれのお宅でお鈴をぜひ家の軒下、行き交う人な音色を届けるできればうれし、話していた。」(写真は1日、南部鉄風鈴)

は、今年創業100周年を迎え、主力商品である「月たま」も発売から30周年という節目であり、「柳井市を全国にPRしたい」との共通認識の下、「オリジナル月たま」の製造を承諾した。

山口県はこの28年中の宿泊客の動向を、それによる「稲荷神社」や「二オーブン」したと園などへの来訪したが、平成27年(花燃ゆ)などによる落ち込みで、前年比3.8%減の6万4000人、数は0.5%減の5万5000人に減少した。

生地は通常の月たまと同じにし、中身を柳井特産のいちごやぶどう、じゃねんじよなどを活用できないかを考えたが、製法上の制限があるため、製造するには難しいことが判明。そこで行き着いたのが、柳井名産の甘露醤油を使った餡とチーズクリームを組み合わせた「甘じよっぱい味わい」だった。

一方、平成26年、平成27年に続いて高い数値となっており、外国人宿泊者など、平成27年の世界ジャンボリーのことで、9万3000人減と減少。0人減と減少。外国人観光客数は、クルーズ船の国との国際定期などで、26万417.2%、3万917.2%となり、過去2年(2015年)を果となった。

現在、あさひ製菓が製造販売している「月たま」は、全7種類あるが、この組み合わせの商品化は今月初めで、5回程度の試作を重ねて、決定した。次に取り組んだのが、パッケージだった。リングノートの金魚ちようちんのデザインだけに、予定だったが、白壁に本

宿泊 28年山口県